

水戸街道は高かつた



並木中等教育学校
1年 関 梢子さん

子ども郷土研究は、調査、研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、郷土「つかひ」への理解を深めることを目的に実施しています。今回は19点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた作品を紹介します。（一部省略）

作品は2月16日（日）まで上高津貝塚ふるさと歴史の広場で展示しています。

問 上高津貝塚ふるさと歴史の広場（☎826-7111）

○研究の動機

私は今まで、土浦の水に関する研究をしてきました。今回は、旧市街の水路について調べようと思いました。

また、土浦城が亀城と呼ばれているのは、「水害の時に亀のように浮いて見えた」と言われています。といふことは、一見平坦に見える旧市街にも高低差があるのかと思い、それも研究してみることにしました。

○研究方法

- ・関東地方の海岸線の変化を見る。
- ・国土地理院に行つて昔の地図を探す。
- ・昔の絵図を見て水路の位置を確認する。
- ・水路があった所で高低差を測る。

○資料

土浦市史、図説土浦市史、土浦町物語、土浦歴史地図、国土地本図、古地図



6000年前の霞ヶ浦

○研究の結果

【水の歴史】

土浦旧市街の水路がなぜできたかを調べるため、まず、土浦の水の歴史を調べました。

○縄文時代

土浦は低地にあつたため、6000年ほど前は海でした。なぜ分かるかといふことは、現在高台になつていて、そこには貝塚があるからです。たとえば上高

○研究方法

○平安時代はじめ

少しだけですが、このことから、貝塚のところが海岸線なら土浦市街は海の中だつたと言えます。それから次第に海が後退して陸地がでてきます。

○奈良時代

少しだけですが、このことによって、土浦は一時発展しました。しかし、発展していくのと同時に、だんだん水路は埋められていきました。昭和の高度経済成長期になると、ほとんど水路は埋められてしましました。そして、水郷の形が失われました。その後、埋められてしまつた水路の名残を探しに行きました。

ルートではなく、美浦村付近から霞ヶ浦を渡り、旧出島から石岡へ向かうルートでした。図説土浦の歴史を見ると、土浦の集落といつたり、中城や東崎で周りは流れ海です。

○平安時代はじめ

土浦城は平将門がつくったといつて伝説があります。しかし、これは伝説にしか過ぎません。なぜかといふと、その頃にはまだ水だけだったと言わられるからです。しかし、土浦城を発掘調査したところ、基礎の作り方などから、中世以前のものだと分かりました。そうすると、平将門が城を築いたと言ふ事もあり得ます。城部分が高台だったのでしようか。

田中には、平国香の墓があつたようです。田中は、土浦城下で一番古い集落ではないかと言われます。

○平安時代後半

少しだけですが、このことによって、土浦は一時発展しました。しかし、発展していくのと同時に、だんだん水路は埋められていきました。昭和の高度経済成長期になると、ほとんど水路は埋められてしまつた水路の名残を探しに行きました。



○室町時代

土浦町内物語には1430年頃に若泉三郎が堀を深く搔きあげて、戦国期の水の砦として整備した、と書いてあります。そしてそこには、町や水路をつくつて生き、土浦といつて町は出来ていったのでしょうか。

○江戸時代

江戸時代に水戸街道が出来ました。そして、土浦といつて町は大きくなつてきました。大町は遅れて、1725年に出来ました。そして、水路を整備して生き、水郷の街が出来たのです。

○明治時代以降

明治時代、土墨をくずして水路を埋め始めました。大正時代には大町の左

右にあつた沼も、現在の市役所近くの山を削って、その土で沼を埋めました。そのことによって、土浦は一時発展しました。しかし、発展していくのと同時に、だんだん水路は埋められていきました。昭和の高度経済成長期になると、ほとんど水路は埋められてしまつた水路の名残を探しに行きました。



【水路あとを探検しよう】

明治4年の絵図を見て、当時水路があつた場所に、行つてきました。今の地図を見ても分かるように、水路は全く残つていません。その水路の跡はちよつと見ただけでは分からぬと思います。何か手がかりを探す探検です。



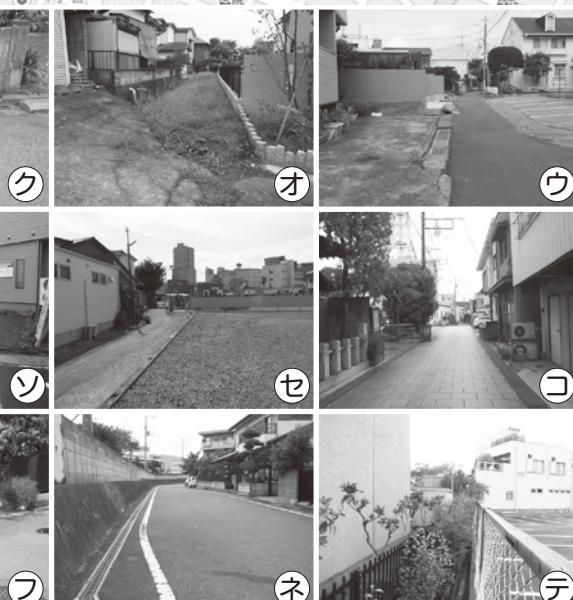
◎大町

大町には街道の横に、①と②の水路がありました。水路は道になつて同じ形で残つてました。水路だつた道は明らかに低くなつていて、家の敷地が高いです。②の部分は絵図の水路と同じにやや曲がつて道があります。

◎田宿(今の大手町あたり)

①の東光寺には土壠の跡があります。この土壠の外に堀がありました。今は家が建つてます。土壠から道路の歩道のところまでが堀の幅でしきうか。

田宿の④に行つてみると、家の裏に水路の跡が残つていてました。今は普通の排水溝のように見えます。また、表札を見てみると、当時と同じ名字の人



が住んでいました。びっくりしました。

②の水路は道になつていてます。水路の幅は道の幅だつたのでしょうか。

③のとりかこむよつた水路は一部しかわかりません。

④の土浦小学校は武家屋敷と堀を埋めて作られましたが、堀がどの程度だつたのかは地図からはわかりません。

でも、歩いていると橋の跡のようないのを見つめました。

また、マンションの横の堀は土壠を支えたものではないでしょうか?

◎中城(中央一丁目)あたり

⑤。中城には大手堀がありました。どちらとも名残は分かりません。また、中城天満宮の後ろには水路がありました。

⑥。しかし跡も名残もありません。霞月楼になつてました。また、中城天満宮の敷地は半分になつて真ん中を今の道が抜けています。

⑦。⑧。の跡も名残もありません。天満宮の跡は半分になつて真ん中を今の道が抜けています。

⑨。の跡も名残もありません。天満宮の跡は半分になつて真ん中を今の道が抜けています。

のようじまん中を道が抜けています。

◎亀城公園

亀城公園の堀は少ししか残つていません。絵図をみると二の丸の堀が内堀に繋げられて残つてているのがわかります。⑩の門の北側は堀の幅で空き地になつていています。

◎本町、中町(中央)一丁目あたり

⑪。大日堂の奥の水路跡には排水溝のような跡があります。南側は大谷石で護岸されていて、小原内科の前に伸びています。北の方へは駐車場の横を通りて名残があります。

⑫。ここには囚獄があり、堀で囲まれていました。その東側の道は水路でした。土地よりすいぶん低くなっています。それらの隣にあつた済岸寺には通つて名残があります。

⑬。ここには囚獄があり、堀で囲まれていました。その東側の道は水路でした。土地よりすいぶん低くなっています。それらの隣にあつた済岸寺には通つて名残があります。

⑭。ここには門がありました。他の門の跡もつです。道が斜めに走つていてます。

⑮。の跡だと思います。でもすぐそばの

亀城タクシーの前の妙な空き地は別の堀の跡だと思います。すると、ここは三本の水路(堀)が狭い範囲に流れています。

9 広報つちうら 2014.2.4

◎築地(城北町あたり)

築地と言えば築地川です。築地川跡を久しぶりに歩いてみたら、途中は新道になっていました。

○田町、横町

④。新川の研究の時に行きましたが、ここには田町川が流れています。⑤では昨年水路の跡がありました。

⑥にも水路の跡があり月読神社の裏に続いていました。今でも少し水が流れています。

⑦。現在の城北町の奥の水路があつたと思われるところは、駐車場になつていています。

○立田から神竜寺

⑧。土浦第二高校の周りには水路がありましたが南側はもう分かりません。北には川の跡が道になつていています。一高の敷地は他より高いです。

⑨の浄真寺の裏には土壘と堀の跡があります。この公園の幅が堀の幅でしょうか。

⑩。ここから南を見ると神竜寺の土壘に立つ木が見えます。一直線に繋がつていたのがよく分かります。

⑪。は神竜寺の土壘です。お墓になつています。

ここから南を見ると神竜寺の土壘に立つ木が見えます。一直線に繋がつていたのがよく分かります。

⑫。は水路に蓋がされていますが、堀の曲がり方とそっくりです。橋のあともあります。堀のあとだと思います。

⑬。は水路に蓋がされていますが、堀の曲がり方とそっくりです。橋のあともあります。堀のあとだと思います。

【高さを計測しよう】

計測で次のことを調べました。

①町の中心から亀城公園本丸との高低差

②水戸街道と裏通り(水路跡も)との高さ

③計測方法



左の表をご覧下さい。場所の数字は下の地図に記入してあります。

場所	旧町	高い所	低い所	高低差
1 来福酒屋前	大町	100	170	70
2 グランドムール後ろ	大町	100	210	110
3 メゾン・ドゥ・エトワール奥	大町	100	150	50
4 大町駐車場	大町	100	180	80
5 等覚寺	田宿	100	146	46
6 沼崎歯科横	田宿	100	140	40
7 三光写真館横	中城	100	120	20
8 中城天満宮横	中城	100	170	70
9 まちかど蔵大徳横	中城	100	150	50
10 琴平神社前	中城	150	230	80
11 琴平神社奥	中城	100	133	33
12 大日堂前	中町	100	210	110
13 囚獄役所跡横	中町	100	160	60
14 囚獄跡	中町	100	170	70
15 旧家具の森内前	中町	100	150	50
16 裁判所前	内西町	100	170	70
17 亀城公園太鼓櫓前石垣	公園内	100	90	10
18 亀城公園太鼓櫓下	公園内	150	260	110
19 亀城本丸地面	公園内			-33
20 亀城フラザ前	前川町	100	253	153
21 妙顯寺前	中町	100	150	50
22 今井食品横奥	築地	100	185	85
23 富士電業社前奥	築地	100	170	70
24 富士電業社前	築地	100	165	65
25 城北ビル前	横町	100	210	110
26 松原疊店南	横町	100	0	100

単位はcm

また、田宿と築地は武家長屋がありました。しかし、水戸街道より低いところがあるので低いところがあるのです。武士の土地より町人町の方が高くなっています。すると大雨の時は、武家敷は浸水しても、町人町は浸水しなかつたかも知れません。身分を考えると不思議な感じです。

○計測まとめ・気づいたこと……

旧水戸街道を中心にして計測してみて分かったことは、城を除いたら旧水戸街道が一番高いということです。

明治時代の地図を見てみると、堀や水路が城を囲み、それを道が囲んでいます。城はもともと高い所に建てられたのだから分かります。しかし、もともと高いところだけに水戸街道を通すのは不可能なのではないでしょうか?

すると道とそれに面する家の分を土盛りしてあることになります。これは当然してあることになります。つまり道も高いし、工事費も高かった、ということです。それから、昔の絵図には元禄時代の物もあります。それを見る

と大町はまだなく、東光寺の土壘の周りに大きな池があります。こんな水漫しの場所に街を築いたわけです。明治になると池はだいぶ小さくなっています。

測ってみよう南側



測ってみよう北側



【古地図を見てみよう】

国土地理院で昔の地図を探してみると昭和43年の国土地理院といつものを見出してくださいました。この地図を見て、現在と比較してみました。当時は高度経済成長期でこの時残っているのは最後の水路です。

○大町
こここの街道の左右にあった水路は、この頃には無くなっています。

○田宿
この時代にはやはり、ほとんど埋められていきました。しかし、南端にある水路の一部が残っていました。昭和43年にはあつたとすると、もちろん、それ以後に埋められたと言つことです。

45年前は両親も生まれています。この時まではあつたのに、今は無いなんてショックです。

○中城
もう水路はありません。今と同じです。今と変わりありません。

○亀城公園
築地川(田町川)が流れています。

○本町、中町
築地(田町)が流れています。

○築地

この頃にはまだ、築地川が残っていました。しかし、築地川だけで、他の水路はもうありませんでした。今回調べた細い水路跡は地図にはのつていないので、築地川があるということはそこへの水流もあつたかもしません。

○立田、神童寺付近
一番変化が大きい所は一高の前で

【まとめ・感想】
○名残は排水路だった? :

「明治に土浦の人は堀を埋めて家を建ててしまった」ということを聞いたことがあります。昨年の新川の研究でそれが分かりましたが、他の地域でも本当なんだと思いました。

堀は土壌を壊して埋めると「土浦町内物語」に書いてありました。それで土壌も水路もきれいさっぱり無くなつたわけです。

○大町
水路もまだあります。流れを示す矢印も書いてあります。また神童寺東の水路も流れが書いてあります。この水路は今も水があります。



■最優秀賞

水戸街道は高かった

県立並木中等教育学校 (1年) 関 梢子 (土浦市在住)

■優秀賞

江戸のなごり(三高津村)

下高津小(5年) 関 望雲

出発!手野町たんけんたい

上大津西小(3年) 関 瑞璃

橋があるのに川がない!?
~消えた水路と土浦の移り変わり~

真鍋小(5年) 大山 風介

■優良賞

ツエッペリンが結んだ縛

神立小(6年) 勝田 勇介

つくばりんりんロードについて

山ノ荘小(2年) 萩島 啓和

発見!土浦じょうゆかりのたて物

土浦小(3年) 菊地 有帆

■努力賞

お盆と佐野子の盆綱

宍塙小(6年) 岩瀬 大河

■学校賞／神立小学校

す。現在家になつてゐるところには、池がありました。道も広がつてゐるところの二高の前の道も細く、絵図で池の半分は道路かもしません。また、当時の二高の前の道も細く、絵図にあるように水路がかかっています。ですから、この45年、いや、それ以下の年月で劇的に変化したと言つていいです。一高の裏の能西寺川から淨真寺裏の堀もまだあります。流れを示す矢印も書いてあります。また神童寺東の水路も流れが書いてあります。この水路は今も水があります。

分の間口は今も残つていて、水路と水路の間隔も狭かつたことがわかります。しかし、昭和以前は細くても水路の名残が残つてました。なぜかというと、全て埋めてしまつと、家の排水が流せなくなつてしまつからではないでしょくか。でも、下水道が整備されていくつてしまつたのです。しかし、一部現在でも排水路として使つているものもあります。ですから、探検の時に見つけやすかつたし、昔の名残が残つていて嬉しくなりました。

最後に、築地川のように、最近に築地川のように、最近に土地の高さが同じです。市街地全部を測つたわけではありませんが、今も江戸時代の土地の高さが中心になつてゐるのかと思いました。

分の間口は今も残つていて、水路と水路の間隔も狭かつたことがわかります。今回になつてやつと、このような昔の名残が残つてゐることの大しさが分かつたような気がします。小学二年生の時でも書いたように、水路の痕跡を守つていいかと思います。

大町では裏道の水路の跡の高さと新しい土地の高さが同じです。市街地全部を測つたわけではありませんが、今も江戸時代の土地の高さが中心になつてゐるのかと思いました。

○今の大町にも高低差がある